TL592

アジアを知るこどもリーフレット

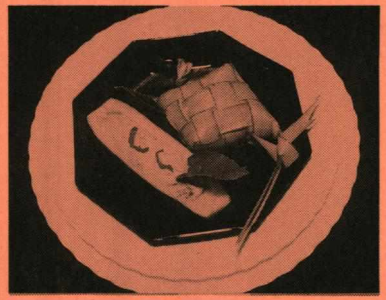
ティモール　ロロ　サイ
Timor Loro Sae

東ティモール

NCC教育部

東ティモールはどんなところでしょう？

グスマオさんのお話 …… 1
東ティモールの歴史と日本 …… 5
東ティモールにいる子どもたち …… 14
私たちにできることは？ …… 18
生活はどのようにしていますか？ …… 20
昔話「ティモールになったワニ」…… 22
「東ティモールに自由を！全国協議会」の紹介 …… 27
ゲーム …… 29
料理－つくってみよう・たべてみよう …… 31
う た …… 32



このリーフレットはおもに高橋道郎さん（ダーウィン東ティモール人学校支援日本委員会）のご協力でできました。また，カトリック教会の正義と平和委員会，ゴスペルファミリー（うた）のご協力も頂きました。

グスマオさんのお話

私の名前はマリア・ファティマ・グスマオです。

1975年は，私の祖国，東ティモールが侵略された年でした。そのとき私はちょうど18才でした。5カ月前に高等学校を卒業し言葉を教える先生になる夢を持っていました。

1975年12月7日に，インドネシアの軍隊が私の美しい祖国を侵略したのです。

私は東ティモールの首都のディリにいました。事件が起こったとき私は夫と一緒に家を出て山へ逃げ，そこで夫は独立革命戦線の闘士になり，私はティモール人女性民衆組織に参加したのです。私たちは自分たちの生活のためにたくさん一生懸命に働き，組織的な活動も効果的に行ないました。

この血なまぐさい占領の間に，私は3人の子どもをなくしました。3人とも男の子でした。

最初の子どもは，医療補助を全く受けることができなかったために死にました。お産は大変な難産で，2～3時間後に赤ん坊はなくなったのです。

2番目の子どもはジャングルの中で，8カ月の時に亡くなりました。敵が激しい爆撃と絶え間ない攻撃をはじめ，私たちの生活を完全に破壊し多くの殺人を行ない始めたときのことでした。

このような攻撃を受けている間，私たちは絶望と悲しみと極たんな疲労に打ちひしがれながらも，自分の身を守るためにかけ回りました。攻撃が止んだ静かな時間，私たちは神さまのお守りを求めて祈りました。川の水は不潔で飲むことは出来ませんでした。私が通り過ぎたジャングルには，傷ついたり病気で倒れた人々，それに戦いのために殺された人たちの骨がいたるところに見られました。

ここでもう一度私は2番目の息子を亡くしたのです。

お医者さんの手当を受けられなかったためと，食べ物の不足のためでした。

私の3番目の赤ちゃんは私がつかまってから産まれ，たった3日しか生きていませんでした。赤ちゃんは，ディリの病院でインドネシア人の医者と看護婦の看護のもとでうまれました。

赤ちゃんのなきがらは「あなたの赤ちゃんは独立革命戦線の子どもだったので殺されたのです」と言う言葉とともに私のところにもどってきました。

日本の皆さん！

世界中の皆さん！

こんな悲惨な目にあい残虐な侵略の犠牲になり続けているのは，私だけではありません。

すべての東ティモールの子どもたちが苦しんでいるのです。

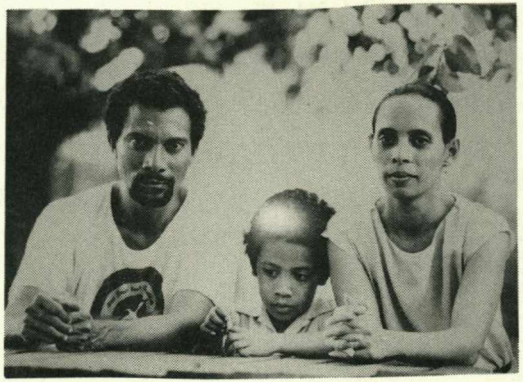
東ティモールの首都ディリでは，ふつうの生活をすることができません。

あなたがたの年ごろの子どもたちは，住む家もなく，世話をしてくれる両親もなく，仕事もお金も家族の援助もありません。多くの子どもたちは道路やひろばのような所で眠り，行くあてもなく，一日中食べ物を口にしないことがたびたびあります。

こうした悲惨な状況は腐敗したインドネシア政府によってもたらされたものです。

オーストラリアに避難している私たちの子どもたちは，自由で独立した東ティモールを勝ち取る闘いのためにひとつになって努力しています。

このことがいつも子どもたちの心の中に生きています。私は，東ティモールの子どもたちがこう言うのを何度も聞いたことがあります。「わたしたちは東ティモールの子どもたちであることを誇りに思っています。わたしたちは勇敢で強い民族です。だからこそお母さん達はわたしたちを愛しているのです。わたしたちはわたしたちの将来に保障が欲しい



右がマリア・ファティマ・グスマオさん，左が夫のジョゼ・グスマオさん，真中は4男のジョイ君

のです。そしてわたしたちの言葉や，歴史，習慣をもっと学び，次の世代に受け継いでゆきたいのです。」

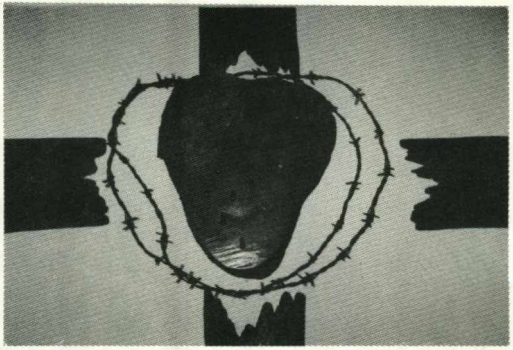
もしあなたがたの援助から東ティモールの学校をオーストラリアの東ティモールに一番近い町ダーウインに建設する力ぞえを得られたら，大変幸せに思います。

なぜなら，私たちは，いつまでも私たちの民族を大切に保ち続けたいと思うからです。

みなさまが関心を寄せて下さり，本当にありがとうございます。

いつも神さまがあなたがたを祝福してくださいますように。

侵略の戦火で焼けた木でつくった十字架
〝人々を閉じ込める鉄条線を突き破れ〟



ディリのラハネ神学校で
（下関・東ティモールの会提供）

東ティモールの歴史と日本

1. 「東ティモール」はどこにありますか？

世界地図のアジアのページを開いてみましょう。(リーフレット6ページ)日本の南の方・赤道の上にたくさんの島々（スマトラ島・ジャワ島・ボルネオ島・スラウェシ島など）でできているインドネシア共和国があるのがわかりますね。このインドネシアの東の方，オーストラリアの北のところに，ティモール島という東西に細長い島があります。この島の東半分が「太陽－ロロ（LORO）が昇ってくる（SAE）ティモール」・東ティモールという国があります。

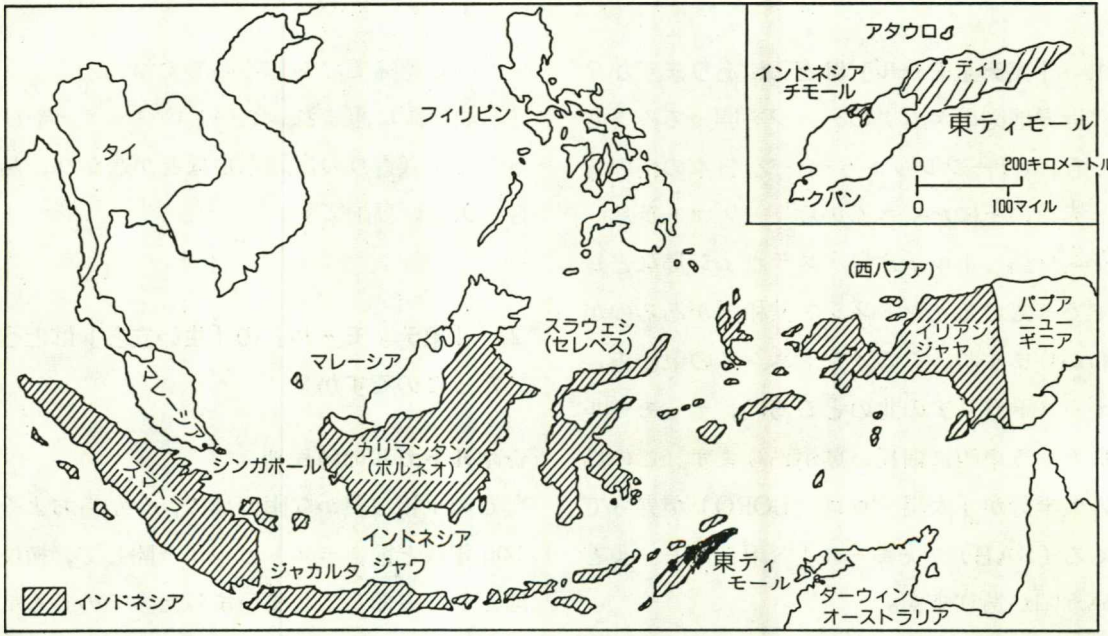
日本という国の意味―太陽が昇って来る国―と同じ意味でおもしろいですね。

石油資源に恵まれ，おいしいコーヒーやびゃくだん（香りの良い木）などが豊かな，熱帯の美しい島国です。

2. 「東ティモール」の「生い立ち」はどうだったのですか？

☆ポルトガルの植民地

この平和な豊かな南の島に，今からおよそ500年ほど前，ポルトガルが上陸して，植民地として占領(せんりょう)してしまいました。そのころポルトガルはスペインと並んで世界の大国でし


アタウロ
インドネシア
チモール
ディリ
東ティモール
0
200キロメートル
0
100マイル
クパン
フィリピン
タイ
(西パプア)
パプア
ニューギニア
イリアン
ジャヤ
スラウェシ
(セレベス)
マレーシア
マレーシア
シンガポール
カリマンタン
(ボルネオ)
スマトラ
インドネシア
ジャカルタ ジャワ
東ティモール
ダーウィン
オーストラリア
インドネシア

た。その後，オランダが世界の新しい大国として力を増し，今インドネシア共和国となっている島々を占領して植民地にしてしまいました。

このとき，ポルトガルはティモール島の東半分と西ティモールの飛び地オイクセとを自分の植民地としていました。その他の西ティモールはオランダの植民地となりました。

このようにしてティモール島は数百年の長い間，東西それぞれ違った文化・伝統を持った地域になっていきました。

東ティモールはテトウン語という言葉をもち，タイシという美しい手織の民族衣装を持った一つの「民族」に成長していきました。

☆第二次世界大戦と日本のティモール島占領

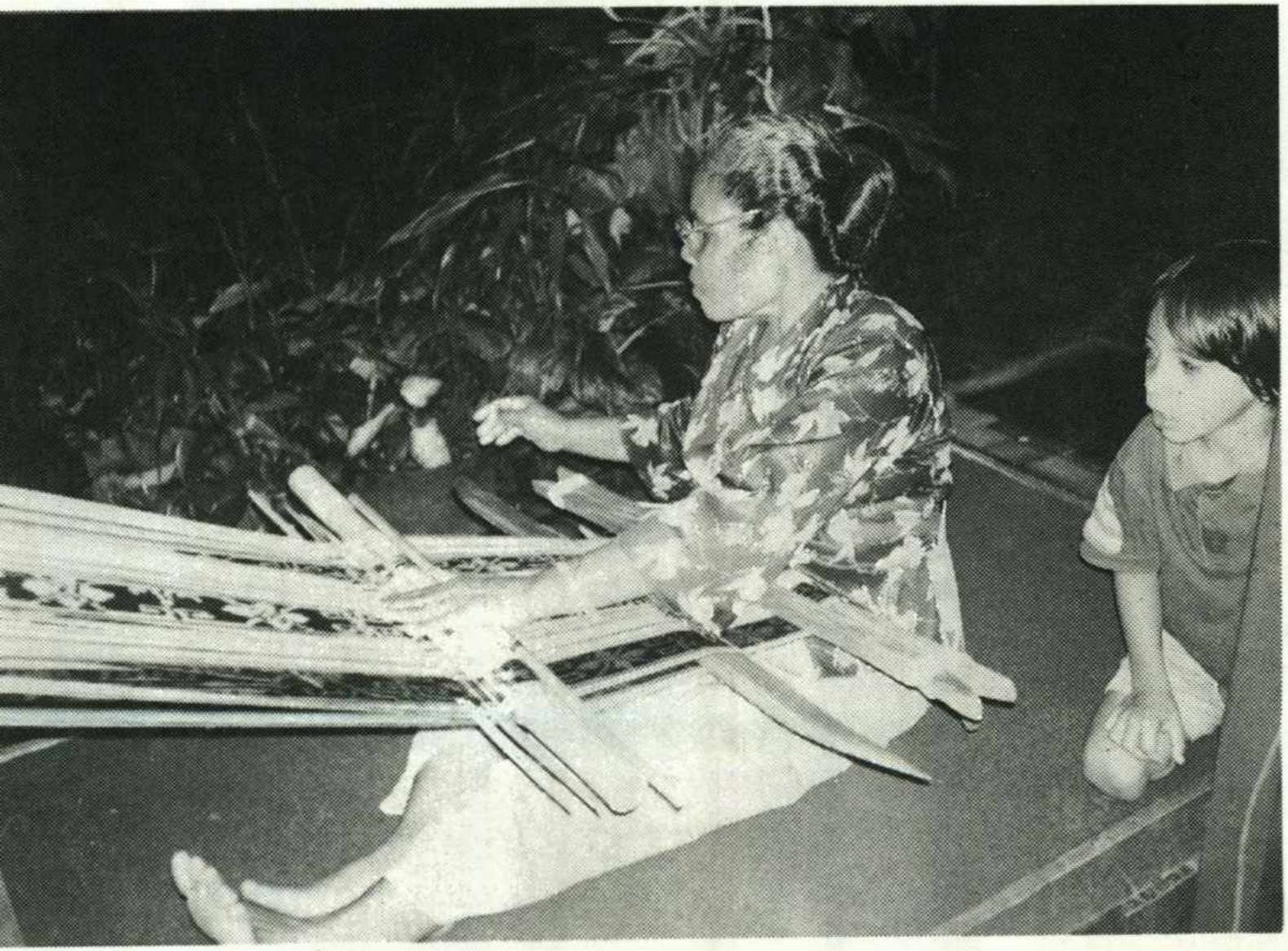
みなさんはティモール島のことをいまはじめて知った方が多いと思います。しかし私たち日本人もこの島に大変大きな責任を持っているのです。

今からおよそ125年前「明治維新」があり，日本が江戸時代という封建時代から「近代化」に大きく歩み出して資本主義のしくみが出来上がってくることは知っていますね。この日本の近代化の歩みが始まってからおよそ８０年間，日本はアジア・太平洋のたくさんの国々を植民地にしたり（1895年－台湾，1905年－南樺太，1910年－朝鮮，1914年－南洋群島，1932年－満州・中国の一部等），1942年からはじめた太平洋戦争（第二次世

界大戦）で東南アジアのたくさんの国々や地域（フィリピン，インドシナ，シンガポール，ミャンマー，インドネシア，ニューギニアなど）を侵略し占領しました。

1945年に日本が戦争に負けるまでこうして日本はアジアのたくさんの人々に大きな苦しみを与えたのです。

1942年から45年まで，およそ3年半の間，日本がティモール島を占領し



タイシを織るヴェロニカ・マイアさん

ていたのは，この日本のアジア・太平洋地域への植民地化と侵略戦争の中で行われたことだったのです。日本の軍人は，東ティモールの人々に軍票といってお金の代わりになるものを与えて，道路をつくらせたり，食料を買ったりしました。この中でたくさんの東ティモール人がきびしい労働の結果や食料不足で死んでしまったそうです。またオーストラリアとの戦争のため，日本軍にスパイと疑われて殺された東ティモール人もいます。

日本は戦争に負けてティモール島から引き上げましたが，今になってもティモール島の人々にきちんとおわびもしていませんし，軍票をお金にかえることもしていません。日本が東ティモールを占領している間に，人口が5万人少なくなってしまったといわれています。

当時，日本が発行した「軍票」。田辺寿夫氏提供
「アジアの教科書に書かれた日本の戦争」梨の木社から

☆第二次大戦後ふたたびポルトガルの植民地となる

日本が戦争に負けてティモール島から帰った後には，またポルトガルが東ティモールの支配者としてもどってきました。

ポルトガルは1974年までサラザールという人の独裁政治が続いていて国の中にも民主主義はありませんでしたし，アフリカにあったたくさんの植民地（アンゴラ・モザンビーク・ギニアビサウなど）では，民族独立を求める運動が激しくなっていました。

☆ポルトガルの民主化と「東ティモール民主共和国」の独立

1974年4月25日ポルトガルの民主化を求める「リスボンの春」と呼ばれる革命が起こり，独裁者サラザールは権力を失い，国内政治は民主主義にもとづいて行われるようになりました。新しい憲法でポルトガルのすべての植民地を解放し，独立させることにきめました。

1975年にはアフリカの植民地が次々と独立し，東ティモールも11月28日に「東ティモール民主共和国」として独立国になりました。

☆インドネシアの東ティモール侵略・占領と東ティモールの民族独立運動

インドネシアはもとはオランダの植民地であった東インド地域が1945年に独立宣言し

てできた共和国です。第二次世界大戦の時は，日本が侵略・占領して人々を大変苦しめたところですが，1945年8月日本が戦争に負けたとき独立宣言し，オランダも1949年にはインドネシアの独立を認めました。独立運動の指導者がスカルノ初代大統領でしたが，1965年軍人のスハルトがクーデターをおこし，100万人以上のスカルノを支持する民衆を虐殺して，政権を奪(うば)いました。

1975年国境のとなりの，石油・コーヒー・びゃくだんなど資源(しげん)の豊かなポルトガル領「東ティモール」が独立すると，インドネシアはわずか10日後の12月7日，たくさんの軍隊を使って「東ティモール」を侵略・占領してしまいました。豊かな資源も奪いたかったし，すぐとなりに民主的な独立国ができると，国内のたくさんの地域が独立運動に立ち上

東ティモールの子どものかいた絵

がる心配があったからです。独裁者はいつも国の内・外を問わず民衆の幸せや命を犠牲にしています。

「東ティモール民主共和国」の人々は民衆とともに山の中にはいり，侵略してきたインドネシア軍とたたかいはじめました。

マリア・ファティマ・グスマオさんもこのとき東ティモールの首都ディリから夫のジョゼ・グスマオさんといっしょに山の中に入って，インドネシアの侵略とたたかいはじめたのです。

東ティモール民主共和国の最初の大統領ニコラオ・ロバトさんは，インドネシア軍に殺されました。人口およそ６０万人といわれる東ティモール人の３人に１人が殺されたり，飢え死にしたりしてしまいました。

国連は，1975 年の侵略直後から，1982 年まで１２回も「インドネシアの東ティモール侵略をいけないことだからすぐやめるように」と決めましたが，独裁者のスハルト政権は，無視してしたがいません。

東ティモールではいまでもニコラオ・ロバトさんの後をついでいるシャナナ・グスマオさんを指導者として独立をもとめてたたかい続けています。

また祖国の戦火をのがれてきたたくさんの難民が，オーストラリア・ポルトガル・モザンビークなどで苦しい生活をしいられています。オーストラリアには約２万人，ポルトガルには約３千人の東ティモール人が生活して

います。

難民の人たちは，祖国の一日でも早い独立と，自分達の祖国への帰国を首を長くして待ちこがれています。

マリア・ファティマ・グスマオさんも今オーストラリアの北部特別地域のダーウィンで勉強している子どもたちジョイ君とセザー君・連れ合いのジョゼ・グスマオさんといっしょに，美しく豊かな祖国に帰りたいと心から願っています。

ダーウィンにはそう考えている東ティモール難民が3千人も生活しています。

ダーウィンにいる東ティモール難民の子どもたち

東ティモールにいる子どもたち

戦争の最大の犠牲者はいつも子ども達ですが東ティモールの子ども達の状況は殊の外悲惨です。今までに2回現地を訪れた経験からこの子ども達についてお話したいと思います。

《ディリ国立病院入院中の赤ちゃん》

名前は聞きませんでした。手足が細く頭だけが大きな黒いかたまり，という感じの赤ちゃん。明日まで生き延びられるか，という状態です。東ティモールでは乳児死亡率は世界第2位（千人当りの死亡者数166）ですが，東ティモール問題が世界に知られていないように，この事実もほとんどの人が知りません。

《信徒数4万の教会で
孤児が350人以上》

東ティモール戦争では今までに人口の3分の1が殺され，当然の結果として孤児が全土にあふれています。S市の神父さんは写真の子ども達（青年）15人位を自分の養子にして，どこに赴任しても連れていきます。彼らが歌ってくれた孤児の歌の悲しい響きが今も耳に残っています。

《心の傷の癒えない子ども達》

O市の教会では15才の少年から話を聞きました。彼のおじさんは東ティモール解放の闘

士ニコラウ・ロバト司令官ですが，10年以上前にインドネシア軍の銃弾に倒れ死にました。軍は憎しみの余り，ロバトの父親も姉妹たちも殺してしまいました。姉妹の一人は生きたままヘリコプターから海に投げ殺され，父親は脳天にくぎを打ち込まれて殺されました。こうした残虐な仕打ちに17年も会ってきた東ティモールの人々，特に子ども達がこれからもどのように心理的に持ちこたえられるか，とても心配です。

《子ども達の生命の抹殺・民族の絶滅》

V市ではマリアという16才の少女に病院を案内してもらいました。大きな立看板があってインドネシア語で「子どもは二人が理想。政府も二人までの家庭には援助金を出します」と書かれています。インドネシア政府は住民が教育を受けられないので無知であることを利用して，風邪薬だ，などと言って危険な避妊薬を注射しています。東ティモールの人口を

神父さんが養子にしている子どもたち

減らせるだけ減らそうというのです。

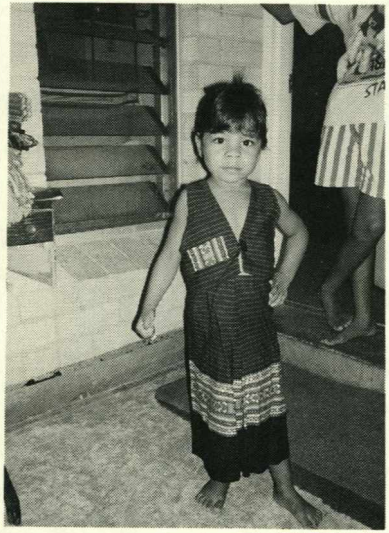
《サンタ・クルス事件と子ども達》

昨年11月12日にディリ市サンタ・クルス墓地で，平和な墓参の人々数千人に対し，インドネシア軍が発砲した事件がありました。インドネシア政府の発表では死者は５０人でしたが，最近州知事が「最終的には犠牲者は250人」と述べています。その大半が二十代とそれ以下の青年で，中には登校中の小学生も含まれています。逃げまどう幼い子どもの背中に銃弾をあびせたのです。

東ティモールの子ども達の悲惨さは，食物・衣服・教育費がないとか，結核やマラリヤなど生命とりの病気にかかる，など，他に第三世界の子ども達と共通の苦しみの上に『将来がない』という大きな黒雲がたち込めていることです。しかも祖国の自由と平和のために闘って来た多くの大人が殺されてしまったために，今や解放の闘いの担い手という重い責任をこの子ども達・青年達が負わされている，ということも悲劇を大きくしています。

日本人である私たちはこれ程の状況に対して何をなすべきでしょう。今まで知られていなかったこの東ティモールのことをよく知ること。そして彼らが訴えている「自分の国の現在と将来は自分たちで決めたい」（民族自決）という望みの実現に，国連への働きかけなどを通して協力すること。そして祈りと実際の援助（生活面教育面など）で彼らを支えるこ

と。それから日本政府に対して，東ティモール人の人権を守ることをインドネシアに対する開発援助の条件とするよう働きかけることも私たちに与えられた大きな課題でしょう。



私たちにできることは？

マリア・ファティマ・グスマオさんのお話を読んであなたはどう感じましたか？東ティモールの生い立ちの話を読んで，日本人として何を感じましたか？

日本は，第二次大戦中東ティモールを侵略・占領していました。そのおわびも軍票の後始末もまだしていません。

日本政府は，1975年国連が「インドネシアの東ティモール侵略・占領を悪いことだからすぐやめるように」ということをきめるときに賛成しませんでした。私たちの政府は，インドネシアとの経済的関係の方を大切に考えて，東ティモールの人たちが生きる権利とか，民族が独立する権利を犠牲にする態度をとり続けています。

このような，第二次世界大戦の戦争のおわびをきちんとしていないばかりか，お金もうけのために，東ティモールの民族が独立することをさまたげている私たちの政府の外交政策は，一日も早くあらためてもらわなければなりません。

日本の政治のあり方についても，しっかり勉強して，選挙権を持つ大人になったときに，正しい選択ができるよう準備し，世界から，とりわけ私たちの住んでいるアジアの国々から尊敬される日本になるようにする必要があ

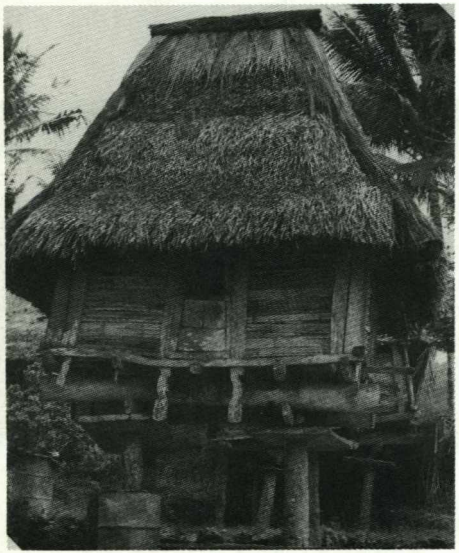
ります。

今日本には，東ティモールの人々を支援する市民運動があり，日本政府の東ティモールに対する誤った政策を改めるようはたらきかけています。とくに，日本のＯＤＡ（日本政府の外国に対する経済援助）で，東ティモールに侵略しているインドネシアにたくさんのお金を出していますが，東ティモールの侵略をやめることを，援助の条件にするよう要求しています。

政府のまちがった態度をかえるよう働きかけることも大切ですが，今独立のためにたたかっている東ティモールの人々・東ティモールの困っている難民のひとびとを援助する事も，日本人の大切な活動です。

民族衣装を着てダンスをおどっている
ダーウィンの東ティモール人難民

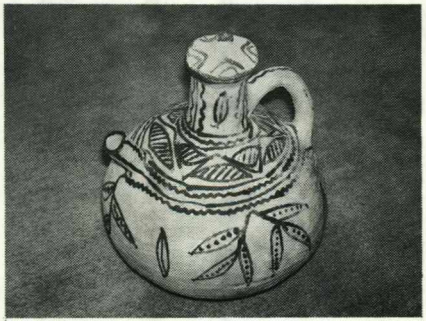
生活はどのようにしていますか？



「東ティモールに自由を！」
キャンペーン委員会提供

湿気や危険を防ぐために高床式の家に住みます。

主食はトウモロコシやいも類，お米などです。
おいしいティモールコーヒーをよく飲みます。
これがコーヒーを入れる時に使うポットです。

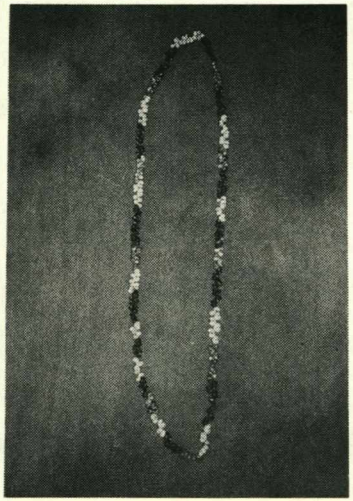


テトウン語の数

1　イ　ダ
2　ル　ア
3　ト　ル
4　ハート
5　リ　マ
6　ネイン
7　ヒトウ
8　ワ　ル
9　スィア
10　スヌル

こんにちは

ディアック・
カ・ラエ



貝がらでつくったネックレス

野草を利用して作ったバック

ティモールになったワニ

むかしむかし沼に何百年も生きてきた一匹のワニがいました。このワニの夢はもっともっとびっくりするほど大きくなることでした。でもこのワニはとても小さく狭いところに住んでいました。もちろん沼なんて，住むには最低の場所でした。浅くてよどんでいて，岸はきれいでなく，ワニが食べたいと思うようなものは何もありませんでした。それでつくづくそこがイヤになっていました。でもほかに生きる所はありません。

ワニが好きなことはおしゃべりすることでした。目がさめると話し続け，自分に質問して自分で答えているのです。何百年もの間も話し続けていたら，話しのタネもなくなるというものです。それにワニはおなかがすいてたまりません。沼には魚とか他の食料になるような生き物がいないし，山羊とか犬とか豚のようにやわらかくておいしい動物がいたとしても，長生きしてきたものばかりです。

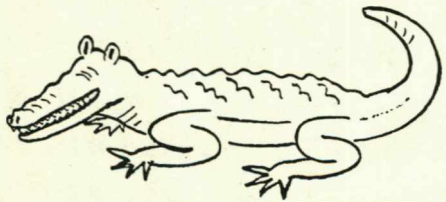
「こんなところに生きているなんてもう沢山だ！」とワニは叫びました。

「忍耐，忍耐」と空想の相手が答えました。

「でもワニは忍耐なんかして生きられないよ」とぶつぶつ言います。

おなかがすいているのを我慢するのも限度っていうものがあります。ワニの体はだんだ

ん弱くなり気持ちも沈んできました。目はぼんやりし，もうほとんど頭を持ち上げることもできなくなり，口も開かなくなりました。「ここから出て野原に食べ物をさがしに行かなくちゃ」と，ワニはいっしょうけんめい努力して岸にはい上がりました。まず泥のところを通り，砂のところを横切りました。太陽は空高く昇っていました。土をじりじりとこがしていました。どこにも陰になるものがありませんでした。ワニは生きたまま焼かれるかのように，もう動けないほど，どんどん弱くなっていきました。



ちょうどその時，元気のよい少年が歌を口づさみながら通り過ぎました。そして「ワニ君どうしたのさ？君はよくないところにいるよ。足でも怪我したのかい？何か君の上に落ちたのかい？」と聞きました。

「どこも怪我なんかしてないよ。だけどもう歩くことができないんだ。あんまり弱くなって，この暑いところから抜け出すこともできなくなったんだ」とワニは答えました。

「それだけのことだったら手伝ってやるよ」と少年はいいました。そしてワニをもちあげると沼のふちへ置いてやることにしました。でも少年はワニはすぐ大変元気になるという

ことを忘れていました。ワニの目は輝き，口を開き，のこぎりのような歯を見せながら舌なめずりをしはじめました。

「この少年は今まで食べたこともないほどおいしそうだ」とワニは考えました。そしてその少年を尻尾で叩いて気絶させ，がつがつ食べてみたいものだと思ったのです。

「そんなに恩知らずなことをするなよ」とワニの心の中にいるもう一人が言いました。

「でも必要なんだから仕方がないさ」

「そうかもしれないけど，でも友達を裏切るなんて恥ずかしいことだよ」

「じゃあ君は僕がなんにもしないで，飢えて死ねばいいのかい？」

「その少年は君を助けてくれたんだぜ。もしいま生きたいんだったら，食べ物をさがせばいいじゃないか」

「それはそうだ」

というわけで少年がぬれた土にワニを置くとワニはにこにこして目をぎょろりとさせると，尻尾を振って言いました。

「ありがとう。君はわたしの最初の友達だ。お礼に何もあげるものがないが，もしも海の向こうの外国に行ったことがないなら連れていってあげるからここに戻っておいでよ」

「ぼくすごく行きたいよ。海の向こうに何があるのか見るのが僕の夢なんだ」

「夢だって？いま夢っていったよね。僕も夢があるんだ」とワニがいいました。

それから二人は別々の道を行きました。少

年はワニが自分を食べようとしたということなどすこしも疑っていませんでした。

時はすぎました。ある日少年が戻ってきました。少年はワニがなかなかわかりませんでした。というのは火傷(やけど)はなおっていたし，十分食べ物を食べてまるまると太っていたからです。

「聞いてよ，ワニ君。僕はまだ夢を持っているんだよ。もう待てないよ」と少年はいいました。

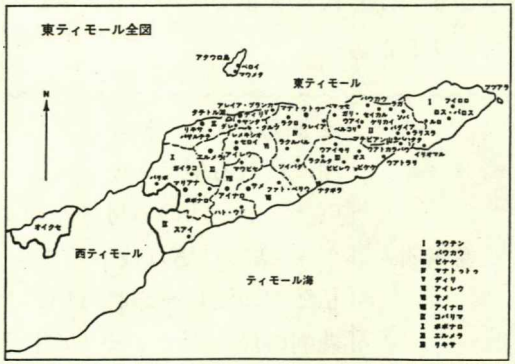
「約束は約束だ。ぼくは自分の夢を忘れるほどたくさんの食べ物にありついていた。よくぼくを思い出して来てくれた。海の向こうに向かってすぐ出発するかい？」

「ワニ君，もちろんだ」

「ぼくもさ，じゃあ行こう」

二人は計画ができてうれしそうでした。少年はワニの背中にまるでカヌーのように乗りました。そして海にむかって出かけたのです。

何もかもが大きくてきれいでした。いちばんふたりをおどろかせたのは，広いと言う事



でした。ふたりの前に広がった光景は果てしなくつづきました。毎日毎日ふたりは休みませんでした。大きな島，小さな島，木や山や雲をみました。これ以上美しいものがあるとは思えませんでした。毎日島々や星を見ました。ふたりはどんどん先に行き続けました。ワニがすっかり疲れるまで，いつも太陽がついてきました。

「聞いてくれ。もうぼくは行けないよ。ぼくの夢は終わったんだ」とワニが言いました。「ぼくの夢は終わらないよ…」少年はワニが突然大きくなってもしゃべりつづけていました。そのうちとつぜんワニは丘や森や川におおわれた島に変わっていました。―そういうわけでティモールはワニの形になったのです。(The legends of the Mauberes より)

―東ティモールを知るために―

☆ビデオ　「闇にけむる東ティモール」　38分　ＮＣＣ教育部にあります。
「東ティモールのお母さんのお話」　約6分　AVACO　03−3203−4121

☆参考書　「小さな島の大きな戦争」アムネスティ・インターナショナル日本支部編　第三書舘
「私たちの闘いを忘れないで」　仁井田蘭著　柘植書房
「悲劇の島・東ティモール」その自然と人びと　島田昱郎著　築地書舘
「ヒューマン・ライト」いま世界の人権は―　ディビット・セルビー著　日本評論社

「東ティモールに自由を！　全国協議会」

詳しく知りたい人は近くのグループを訪ねて聞いたり，これからも支援したりして下さい。

◆東チモールの独立を望む会
〒060　札幌市中央区大通西18丁目　ファミール大通601
Tel：011-615-9177

◆仙台東チモールの会
〒980-01 仙台市青葉区一番町1丁目3－3　仙台中郵便局私書箱569号
Tel：022-288-9186（羽倉）　022-263-6380（高橋）

◆東京東チモールの会
〒180　武蔵野市中町1−2−9−302
Tel：0422-55-7937

◆名古屋ＹＷＣＡ東チモールを考える会
〒460　名古屋市中区新栄町２－３　名古屋ＹＷＣＡ内
Tel：052-961-7707

◆名古屋カトリック正義と平和委員会（日本カトリック正義と平和協議会あて）
〒461　名古屋市東区葵2−6−29 福信館
Tel：052-931-7374

◆大阪東ティモール協会（旧東ティモール独立に連帯する会）
〒606　京都市左京区吉田下安達町9　きょうと・市民のネットワーク気付
Tel：06-370-8304

◆善通寺東チモールと連帯する会
〒765　善通寺市文京町3−2−1　四国学院大学宗教部　筒井気付
Tel：0877-62-2111

◆東チモールの声を聞く会
〒700　岡山市下伊福1−2−28　松尾方　Tel：0862-54-8150

◆呉ＹＷＣＡ東チモール問題を考える会
〒737　呉市幸町3−1　Tel：0823-21-2414

◆下関・東チモールの会
〒750　下関市丸山町5−3−25　下関労働教育センター気付
Tel：0832-23-4585

◆アジアと日本（私たち）の関わりを見つめる会
〒897-73 大分県大野郡犬飼町下ノ原　小野方
Tel：0975-78-1047

◆ダーウィン東ティモール人学校支援日本委員会
〒980　仙台市青葉区錦町1−2−6 弘済会気付
Tel：022-263-6380

子ども達—コーラス

Kuoa tail rebo rebo

Kiu, kiu, kiu・・・

い　ぬ　—

Nu mean ka mutin ?

Fo asu ka, la fo ?

子ども達—

Nri mean, to !

Nri mutin,to !

コーラス—

繰り返し

Kuda tail rebo, rebo

Kiu, kiu, kiu, ・・・

ゲ　ー　ム

訳
だれもが，みんなの後についてゆく。馬のように。
キウ　キウ　キウ

ココナッツは赤いの，それとも白いの？
君らはいくつ犬にくれるの？
それともくれないの？

ええ，赤いココナッツを，犬にあげましょう。
ええ，白いココナッツを，犬にあげましょう。

い　ぬ　—

Nu mean ka nu mutin ?

Fo′ asu ka la fo′ ?

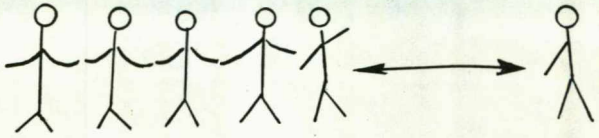
子ども達—

Nu mean, la′ fo′ !　　赤いココナッツ，あなたに上げないよ。

Nu mutin, la′ fo′ !　　白いココナッツ，あなたに上げないよ。

註—拒絶の答えを聞くと，犬の役の子どもは立ち上がって走り出し，グループの最後の子どもを捕えようとする。列の最初の子はグループの父親で，犬から残りの子どもたちを守ろうとする。

子ども達はかたまって歌いながら逃げる。　　犬の役をする子ども



捕まった子が犬の役と子どもと入れ替わり，自分が犬になって，ゲームは続く。

つくってみよう

簡単な東ティモール料理

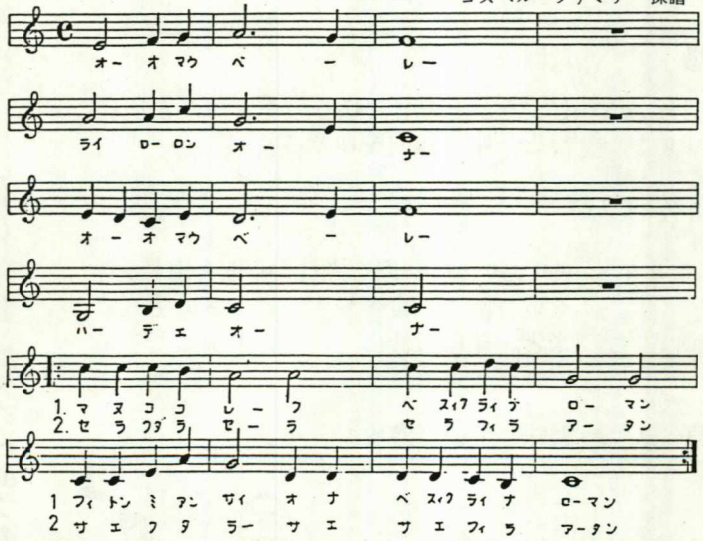
サソロ（Sasoro）ティモール風おかゆ

手順	材料	分量	調理法
1	鶏肉 しょうが たまねぎ ハッカの葉	1羽分 50g 1こ 10枚	しょうがとみじん切りのたまねぎとハッカと一緒に鶏肉をゆでる
2	米	250g	ゆであがった鶏肉を煮汁から取り出し，骨を取り除き，食べやすい大きさに切って米と一緒に煮汁にもどし，米が煮えるまで火を加える。
3	塩 こしょう	適宜 〃	調味して皿に盛る。

たべてみよう

マウベレ
MAUBERE

（注：マウベレとは東チモール人のこと）

Jose Gutmao & Jose Guterres
ゴスペル・ファミリー 採譜

オー　オー　マウベレ
いまや　そのとき
オー　オー　マウベレ
いま　目を覚ませ

鶏がなく
機は熟した
赤い星がのぼる
機は熟した

馬に鞍をつけろ
奴隷にではなく
馬に乗れ
奴隷にでなく

ＮＣＣ教育部　〒169　東京都新宿区西早稲田 2−3−18−21
TEL　03−3203−0731